

ママからママへ 防災講座

草津 熊本地震経験から助言

1年前の熊本地震で被災した子育て中の母親の体験談を聞いて、地震への備えを考える防災講座が17日、草津市内であった。

子育て支援サークル「玉っこひろば」の主催。約20組の親子が、黙禱もくごうの後、熊本市や熊本県益城町で被災



合図にあわせて、地震から身を守る訓練をする親子ら―草津市の湖南広域消防局南消防署

した母親2人から、電話で当時の様子などを聞いた。

2人は、地震発生後の車中泊や、近所の親子らと支えあって野宿をした経験などを踏まえて、「だっこひもや懐中電灯は幼い子どもを連れての避難に欠かせない。枕元に置いておくといい」「車に2、3日分の着替えを積んでおくといい」などと助言。「(滋賀県に)地震が絶対に来ないとは言えない。訓練に積極的に参加し、備えてほしい」と呼びかけた。

その後、参加者は、地震の揺れに見舞われた際の身の守り方などを学んだ。

生後10カ月の娘と参加した草津市の主婦機久美子さん(39)は「地域の人のコミュニケーションが大切だ

とわかった。いざというときに慌てないように普段から備えたい」と話した。

(八百板一平)